

# 医学部同窓会便り

# 迎春

## 年頭のご挨拶

医学部同窓会長  
宇野 英明



新年明けましておめでとうございます。

同窓会員の皆様におかれましてはご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

また、同窓会に対し、平素よりご協力・ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年、母校「和歌山県立医科大学」は創立70周年を迎え、11月1日（日）に旧医大跡地にあるダイワロイネットホテルで、記念式典・記念講演会・記念祝賀会が開催され、盛会裏に終わりましたことをご報告させていただきます。

これは偏に、記念事業を実施するに当たり同窓会会員を始め大学教職員の皆様方の物心両面からのご協力を賜りましたお蔭でございます。同窓会実行委員会一同改めて心より感謝申し上げます。

記念行事は、「オール和医大・オール同窓会体制」を合言葉に、岡村吉隆学長を始めとした大学教職員・事務局並びに医学部同窓会・保健看護学部同窓会・両学部学生の皆様方の協力、協働により一体となって執り行われ、今後の母校の発展に繋がる一つの新たな礎が形作られました。

記念祝賀会は「母校は心のふるさと」「若い力を未来に繋げて」をテーマに、宮下和久副会長と坂口雅宏副会長による緻密なかつ精力的な企画立案・準備運営、吉村利規理事並びに森庸亮顧問の強力なお力添え、30名を超える同窓会員有志のご尽力により、文字通り同窓会員の手作りのものとなりました。

また、同窓生の嶋公大先生（昭和54年卒）、伊良波範子先生（平成9年卒）の心に染みる見事な演出・演奏、そして両学部の100名を超える学生の新しい息吹（軽音楽部Swinging Cellsの素晴らしい演奏、茶道部の「お茶のおもてなし」、ミュージックボランティアのハンドベル演奏・コーラス、軟式テニス部の「森の茶室」設営、両学部学生によるショートスピーチ（未来への決意表明）など）が500名を超える会場の参加者に深く感銘を与え一体感を醸し出しました。祝賀会の様子の詳細については、後日発刊予定の記念誌及びDVD、同窓会誌等でご高覧頂ければと思います。

注目すべきことは、これからの和医大の歴史の創造者であります両学部の学生の多くの皆さんが参画して頂き、同窓生先輩の先生方と打ち合わせや準備を共にする中で時空を超えた共通意識をもって相互の意思疎通が出来たこと、また当日の記念祝賀会での若さ溢れる活躍には目を見張るものがあり、20年、30年後の未来に向けて数多くの力強い意欲のある言葉・決意・思いを語ってくれたことであります。

関係者各位のお蔭で、将来の母校の発展に繋がる節目となる創立70周年に相応しい意義深い記念祝賀会となりました。

今年も同窓会活動にご尽力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。